

第 18 回東京都女子フットサル大会兼第 14 回全日本女子フットサル選手権大会東京都大会予選 実施要項

大会名称 第 18 回東京都女子フットサル大会兼第 14 回全日本女子フットサル選手権大会東京都大会予選
主催 (公財)東京都サッカー協会 東京都フットサル連盟
主管 東京都女子フットサル大会実施委員会
協力 (株)ウインスポーツ

出場チーム 出場チーム数は、29 チームとする。
①東京都女子フットサル 2 部リーグ 8 チーム
②東京都女子フットサルエントランスリーグ 15 チーム
③一般公募 6 チーム

期日・会場	1 次ラウンド(リーグ戦)	平成 29 年 5 月 05 日(祝金)	府中スポーツガーデン
	2 次ラウンド(トーナメント戦)	5 月 13 日(土)	府中市総合体育館第二体育室
	2 次ラウンド(トーナメント戦)	5 月 13 日(土)	立川市泉市民体育館
	2 次ラウンド(トーナメント戦)	6 月 04 日(日)	MFP 味スタ

参加資格

- フットサルチームの場合
(1)公益財団法人日本サッカー協会(以下、「日本協会」とする。))に「フットサル 1 種」、「フットサル 2 種」、または、「フットサル 3 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
(2)前項のチームに所属する 2005 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。女子に限る。
- サッカーチームの場合
(1)本協会に「2 種」、「3 種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
(2)前項のチームに所属する 1999 年 4 月 2 日以降、2005 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。女子に限る。
- 都道府県大会、地域大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
- 1 チームあたり 5 ~ 20 名、スタッフ 8 名以下とし、過半数が東京都に在住・在勤・在学のいずれかであること。
- 1・2 項に定めるチームの外国籍選手については、1 チームに 3 名までの登録を認める。但し、ピッチ上にいる選手が 2 名を越えてはならない。
- 東京都フットサル連盟加盟チーム所属選手は、当大会フットサル大会登録票提出時以前に、当該年度東京都フットサル連盟に登録を完了していること。

競技規則

- 当該年度日本協会制定の『フットサル競技規則』による。試合時間については競技形式 2 項による。
- 当大会において退場を命じられた選手は次の 1 試合に出場できずそれ以降の処置については当大会規律フェアプレー委員会で決定する。
- 当大会期間中、警告を 2 回受けた者は、次の 1 試合に出場できない。
- 別途決まりのない限り、試合 60 分前に両チーム責任者・審判とマッチコーディネーションミーティングを行う。遅刻・欠席したチームは失格とする。対戦チーム、審判、コーディネーター、以上 3 者の合意をもって失格と判断する。

競技形式

- 大会形式は、以下のとおりとする。
 - 1 次ラウンド
東京都女子フットサルエントランスリーグ所属チームおよび一般応募チームの計 21 チームを 3 チームのグループに分け、1 回戦総当たりのグループリーグを行い、順位を決定する。
 - 2 次ラウンド
1 次ラウンドを勝ち上がった上位 8 チームに東京都女子フットサル 2 部リーグを加えた 16 チームによるノックアウト方式により、優勝以下順位を決定する。
- 試合時間は、以下のとおりとする。
 - 1 次ラウンド : 20 分(10 分ハーフ)タイムアウトなしのランニングタイム
(ハーフタイムのインターバル 3 分)
 - 2 次ラウンド : 30 分(15 分ハーフ)タイムアウトなしのランニングタイム
(ハーフタイムのインターバル 3 分)
- ベンチに着席できる人数は、フットサル大会登録票により当大会に予め登録されており、試合開始前に提出のメンバー提出用紙に記載されている交代選手 9 名、役員 4 名の合計 13 名を上限とする。チーム役員については、事前に大会登録されている最大 8 名の中から 4 名を越えないチーム役員が試合登録され、ベンチに入ることが認められる。試合登録において役員及び選手を兼任する場合は、ベンチ入りの人数においてチーム役員・選手双方に含まれるものとする。チーム役員が 4 名を超えない場合に限り、試合に出場しない大会登録選手の中からチーム役員として試合登録ができ、ベンチに入ることが認められる。この際の服装はユニフォームではなく、選手と区別できる服装を着用しなければならない。
尚、試合開始時に最小 3 人の競技者がいる状況において、試合開始以前に提出されるメンバー表に記載され、かつ大会登録選手であり、出場資格を有すると確認されている競技者が、試合開始時に不在の場合、以下のとおり

- とする。
- (1) 前半開始(前半キックオフ)後ピッチに到着した場合、その競技者は、前半は出場できず、ベンチに入ることできない。
 - (2) 試合開始から後半開始までの間にピッチに到着し、ハーフタイムの時間内に主審の承認を得ると後半開始時よりその試合に出場することができ、ベンチに入ることできる。
 - (3) 後半開始(後半キックオフ)後、ピッチに到着した場合、その競技者は、その試合に出場することはできず、ベンチに入ることできない。
4. リーグ戦における順位決定方法は、勝3点、引き分け1点、負0点の勝点により、勝点の多い順に順位を決定する。尚、勝点の合計が同一の場合、以下の順にて決定する。
- (1) 当該チーム間の対戦成績
 - (2) 当該チーム間の得失点差
 - (3) 当該チーム間の総得点数
 - (4) グループ内での総得失点差
 - (5) グループ内での総得点数
 - (6) 下記の基づく警告・退場のスコアが少ないチーム
 - i) イエローカード1枚:1ポイント
 - ii) イエローカード2枚によるレッドカード1枚:3ポイント
 - iii) レッドカード1枚:3ポイント
 - iv) イエローカード1枚に続くレッドカード1枚:4ポイント
 - (7) 抽選
5. ワイルドカードの選出方法は、1次ラウンドの各グループ内順位を決定した後、各グループ2位チームの成績を次の順序で比較し決定する。
- (1) 勝点
 - (2) 得失点差
 - (3) 総得点数
 - (4) 抽選
6. 2次ラウンドにおいて、同点の場合、ペナルティーキック(PK)方式にて、勝敗を決定する。
7. 試合が、一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止となった場合(不戦敗等)には、その帰責事由あるチームは0対5で敗戦したものとみなす。
8. 試合球は、(株)ウインスポーツ社製フットサルボール公式球を使用する。

組み合わせ 当大会の組み合わせは、東京都女子フットサル大会実施委員会において抽選で決定する。

※発表は、2017年4月21日(金)頃を予定

参加申込

①チーム名 ②代表者名 ③Tel ④E-Mail(携帯不可)を下記連絡先 E-Mail で送信する。
 受付後、本大会実施委員会より出場の可否およびその後の手続きを参加申込チームへ別途通知する。
 ※東京都女子フットサルリーグ参戦チームは参加必須の為、既に申込み済とする。
 ※一般チームの受付は先着とし、募集数に達し次第受付を終了する。
 ※受付返信は、原則的に申込 E-Mail 到着後 5 日以内に行います。
 ※実施委員会より返信の無い場合は、E-Mail を実施委員会が確認できていない場合があります。

参加チーム

2017年3月17日(金)~4月14日(金)

募集期間

※実施委員会運営時間(平日 10:00-15:00)外は受付返信ができません。ご了承下さい。
 ※受付返信は、原則的に申込 E-Mail 到着後 5 日以内に行います。
 ※実施委員会より返信の無い場合は、E-Mail を実施委員会が確認できていない場合があります。
 ※エントリー後のキャンセルは一切認められません。

参加費

20,000 円
 ※納入は、受付後の本大会実施委員会よりの返信を確認の上行って下さい。

当日の受付

各チームの第1試合開始60分前までに、会場内の大会受付にて来場の受付を行うこと。尚、時間までに受付を済ませないチームは参加を辞退したと見なし、棄権とする。

マッチ
 コーディネーション
 ミーティング

マッチコーディネーションミーティングに出席しなければならない。欠席による処分の判断は当大会実施委員長、対戦相手並びに審判員の全会一致をもって決定する。マッチコーディネーションミーティングの際に正・副の大会登録済みユニフォーム(FP・GK共に、シャツ・パンツ・ソックスが揃っていること)一式、ビブス、メンバー用紙、電子選手証の写し(写真が登録されたもの)を提出すること。

用 具

1. ユニフォームは、以下のとおりとする。
 - (1) 日本サッカー協会「ユニフォーム規程」を遵守すること。
 - (2) シャツ・ショーツ・ストッキングは、フィールドプレーヤー・ゴールキーパーとも正の他に、副として正と異なる色彩のユニフォームをフットサル大会登録票に記載し、必ず競技場に携帯すること。また、東京都女子フットサル1部及び2部リーグ所属以外のチームについては、正のユニフォームおよび正と異なる色彩の副のストッキングの登録のみでも認めるものとする。尚、当大会を勝ち抜き東京都大会に進出した場合は、正副2着準備・携帯しなければならない。
 - (3) 選手全員が携帯及び着用するユニフォームは、正副ともフィールドプレーヤー・ゴールキーパーのそれぞれすべてが同色・同デザインのものとする。
 - (4) ユニフォームのシャツの色彩は、審判員が着用する黒又は同系色(紺など)を用いることはできない。
 - (5) アンダーシャツを外に露出して着用する場合は、その主たる色はシャツの袖の主たると同じでなければならない。またアンダーショーツを外に露出して着用する場合は、その主たる色はショーツの主たる色と同じでなければ

ばならない。(同系色は認められない)

- (6) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。
 - (7) 背番号は、フットサル大会登録票に記載され、明確に判別しうる選手固有の番号を付けること。
 - (6) 背番号の番号は、1～99番までの整数とし、0は認めない。また、1番はゴールキーパーがつけることとする。
 - (7) 大会登録票提出後の登録内容の変更は原則的に認めない。
 - (8) ゴールキーパーのユニフォームは、フィールドプレーヤーとしてプレーしていた競技者がゴールキーパーとしてプレーする場合は、ゴールキーパーのシャツと同色・同デザインであることを基本とする。また、事前に登録された色彩のゴールキーパー及びフィールドプレーヤーのシャツの中から選択して着用することもできる。但し、その試合で着用されるそれぞれのフィールドプレーヤーおよび相手ゴールキーパーの色彩と異なり、試合前のマッチコーディネーションミーティング(審判立会いの打合せ)において承認された場合に限り着用を認められる。また、競技者が着用するシャツにはその競技者自身の背番号を付けなければならない。尚、ケガや退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のユニフォームで代用することができる。
 - (9) ユニフォームの広告(規格外のユニフォームメーカーロゴマークを含む)表示については、日本協会『ユニフォーム規程』に基づき、日本協会理事会の承認を得た場合のみ認める。また、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームの負担となる。
 - (10) シューズは、キャンバスまたは柔らかい皮革製で、靴底がゴムまたは類似の素材でのトレーニングシューズまたは体育館用シューズタイプのみが許される。尚、靴底の接地面は白色・アメ色・無色透明とする。ピッチ面を傷つけたり、着色する恐れのあるシューズは認められない。
 - (11) 参加チームは、ユニフォームシャツと異なる2色のビブスを準備・携行し、競技中にピッチ内の選手と明確に判別するため、交代要員はそのビブスを着用しなければならない。
 - (12) 選手の装身具(ネックレス、ピアス、指輪等)については、すべて取り外すこととする。
- 上位4チームは、7月に開催される東京都大会に出場する義務と権利を有する。

出場権

その他

1. 実施要項に違反、もしくは、その他不都合な行為のあった時はその出場を停止する。
2. 怪我などの事故が発生した場合、主催者は一切の責任を負わない。
3. 参加チームは、競技の進行が円滑にできるよう案内・注意事項等を遵守すること。
4. 試合において、出場するチームは本大会登録票及び、日本協会発行のフットサル電子選手証の写し(写真が登録されたもの)を持参すること。不携帯のチーム及び確認のとれない選手は当該試合への出場を認めない。
5. 悪天候、地震等の天災地変または公共交通機関の不通、その他いずれのチームの責任にも帰すべからざる事由以外の事由により持参しなかったチームは不戦敗とする。
6. 東京都調布庁舎へは、原則的に大会登録票に登録されている選手およびスタッフのみ入場可能とする。
7. 審判は、主催審判委員会より派遣する。
8. 参加申込チームが定数に満たない等の要因により、日程・大会形式が変更になる場合がある。
9. 本実施要項に定められていない事項については当大会実施委員会にて判断する。

提出・問合せ先

東京都女子フットサル大会兼全日本女子フットサル選手権大会東京都大会予選実施委員会
E-mail: serie@tokyo-futsal.jp